



令和5年度学校経営シラバス（北海道遠軽高等学校：定時制課程）

R5.4.6

学校の現状

- ・入学者減少→生徒数減少
- ・中途退学者
- ・中学時代の不登校経験者
- ・様々な支援を必要とする生徒
- ・進路希望が不明確な生徒

学校の課題

- ・生徒数の確保（課程維持）
- ・基礎的・基本的な学力の定着に向けた授業改善の充実
- ・豊かな人間性や社会性を育成する道德教育の充実
- ・特別支援教育の視点からの支援
- ・キャリア教育の充実
- ・学習指導要領に基づく授業実践及び研究の充実

校訓 克己

学校教育目標

- 1 新たな価値を創造する力、知恵を持つ生徒を育てる
- 2 主体的に人生を切り拓く力、市民性を持つ生徒を育てる
- 3 心豊かで他者を思いやる力、共にはたらくことのできる生徒を育てる

重点目標

- 1 自ら考え、判断し、主体的に行動ができる生徒の育成
- 2 基礎学力と基本的生活習慣を身に付けた生徒の育成
- 3 気力・体力を養い、活気ある明朗な生徒の育成

学校経営方針

オホーツク遠紋地区の伝統校として、生徒、保護者、そして地域の市民の期待に応える学校づくりを進めるため、次の事項について重点的に取り組み、教育の質を高める。

- 1 様々なツールを活用した「教科指導」の実践及び工夫・改善
- 2 オホーツクや遠紋町の資源を活用した教育活動の充実
- 3 信頼される学校運営の実施
- 4 働き方改革の推進

本校への期待

- 落ち着いた雰囲気、自分のペースで高校生活を送ることができる。
- 遠紋地区唯一の定時制課程
- 学び直しのできるリカレント機能

校長のビジョン

【目指す学校像】

- 生徒の安全安心が確保され、生徒、保護者、地域から信頼される学校づくり
- ・生徒が失敗や成功を繰り返しながら成長し、夢を叶えることができる学校
- ・生徒の心の居場所となる学校
- ・生徒の社会的職業的な自立に向けて、キャリア発達を促す学校

【育成する生徒像】

- 1 自ら考え、判断し、主体的に行動ができる生徒
- 2 基礎学力と基本的生活習慣を身に付けようとする生徒
- 3 活気ある明朗な生徒

重

点

取

組

生徒の卒業を支援する教育課程の編成・実施

- 「学び直し」から始まる教育課程の編成・実施
 - ・基礎学力の定着を図る科目の設定と学習指導の充実
 - ・履修と修得の分離など弾力的な教育課程の編成
- キャリア教育の視点からの体験的な教育活動の充実
 - ・通信制生徒や異年齢集団との交流
 - ・コミュニケーション能力を高める教育活動
 - ・主体的・積極的な生徒会活動・学校行事

評価の観点

- 進級・卒業に向け柔軟に学習指導を行ったか
- 学び直しによる基礎学力の定着が図られたか
- 中途退学者、原級留置者が減少したか
- 問題行動等が減少したか

学校改善の推進

- 遠軽高校定時制のスクール・ポリシーの周知
 - ・遠定で身に付けさせる能力の定着
 - ・学校改善に向けた活発な議論の推進
- 地域との連携など、進学・就職指導の充実
- 自己指導能力（メタ認知）の育成を目指す生徒指導の充実
- 高等学校教育における特別支援教育の充実

評価の観点

- 「遠定ミッション・ポリシー」を普及できたか
- 学校改善の意識が高まり、広い視野で取り組めたか
- 進路希望未定者が減少したか

社会に開かれた学校づくり

- HPや学校だより、学校説明会など、積極的な情報発信
- 地域の教育資源の活用
- 学校評価の焦点化
- 課程維持のための生徒募集に向けた取組の充実

評価の観点

- 生徒、保護者、地域にわかりやすく情報提供したか
- 出願者数が増加したか
- PDCAサイクルに基づく学校改善が図られたか